

働くルール破壊・ブラック企業づくりにレッドカード

STOP! 安倍 雇用破壊

安倍政権は、成長戦略の目玉として、雇用・労働法制「改革」を大々的におこなおうとしています。しかし、その実態は、グローバル大企業の利益のための働くルールの全面破壊であり、日本中をブラック企業にしかねない大改悪です。

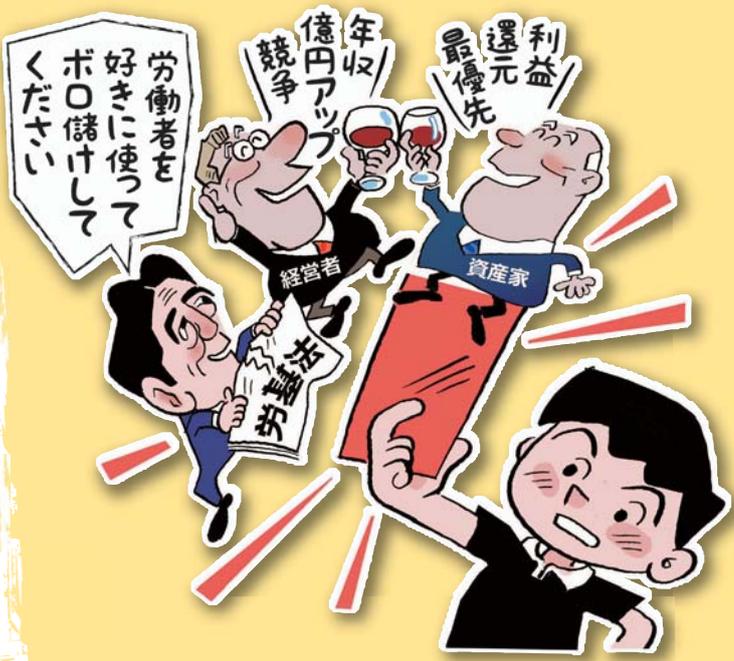
金儲けのために、働く人々や地域社会を犠牲にする安倍雇用破壊をストップさせましょう。

人間らしい労働と生活取り戻そう

サービス残業合法化、過労死ふやす 「残業代ゼロ」制度

政府は、何時間働いても残業代を払わない新しい労働時間制度の準備を加速させています。日本の長時間労働は今でさえ社会問題になっているのに、こんなことを許せば、いっそうのノルマが課され、健康破壊や過労死が多発することは必至です。

政府は対象者を限るとしていますが、「小さく生んで大きく育てる」(竹中平蔵氏) 魂胆であり、一度導入されれば、次々と拡大されていくことは明らかです。



正社員ゼロ、生涯派遣のまま 派遣法の全面改悪

労働者派遣はこれまで「臨時的・一時的な業務」に限られていました。派遣切りに明らかなように、不安定な働き方だからです。ところが、今回の政府法案は、3年ごとに労働組合等の意見を聴きさえすれば、企業は労働者派遣をいつまでも続けることができます。

これでは、低賃金の労働者派遣への切り替えが大々的にすすみ、使い捨てが当たり前の社会になってしまいます。

金さえ払えばいつでも首に 解雇規制の緩和

さらに政府は、労働契約終了のルールづくりを掲げました。外国企業の投資を呼び込むために、「予見可能性を高める」として、金さえ払えば解雇できる「解雇の金銭解決制度」の導入がねらいです。

今でも乱暴な首切りやリストラが横行しているのに、金さえ払えば違法な解雇も許されるといえるのでは、まさに「首切り自由社会」であり、断じて許されません。



全労連・労働法制中央連絡会

許すな!

残業代ゼロ、使い捨ての生涯派遣

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

2014年 月 日

労働法制の全面改悪に反対する国会請願署名

請願趣旨

若者を使いつぶす“ブラック企業”や過労死が社会問題となり、少子化による人口減少・労働力不足が深刻化しています。雇用の安定を取り戻し、ディーセントワークを実現することが緊急課題です。

ところが、政府の労働者派遣法「改正」法案は、「臨時的・一時的な業務に限る」という大原則をなくし、人を入れ替えれば、いつまでも労働者派遣を使い続けることができる生涯派遣・正社員ゼロ法案となっています。

「残業代ゼロ」制度の導入など、労働時間法制の大改悪が検討されています。違法なサービス残業が合法化され、健康被害や過労死のさらなる増加が強く懸念されます。くわえて、解雇規制の緩和も検討されており、低賃金の使い捨て労働がいつそうひろがりかねません。

“成長”の名のもとに、働く人々の幸せや人権、地域社会を踏み台にして、グローバル大企業の利益に全面奉仕する逆立ちした政策はもう止めるべきです。いま必要なことは、「世界で一番企業が活動しやすい国」づくりではなく、労働時間の上限規制の実現や賃金水準の底上げで、人間らしい労働と生活を保障し、安心して子どもを産み育てられる社会を取り戻すことです。

以上の趣旨から、下記事項の実現を強く要請いたします。

請願項目

- 働く人々をモノ扱いし、使い捨て労働を蔓延させる労働者派遣制度の改悪を中止し、「臨時的・一時的な業務」に厳しく限定すること
- サービス残業を合法化し、過労死を増やす「残業代ゼロ」制度は導入しないこと
- 解雇の金銭解決制度など、解雇しやすい仕組みづくりはおこなわないこと

氏名	住所